

## 第8回 単細胞生物から多細胞生物へ

■ゾウリムシの顕微鏡像を図示し、各部の名称と働きを説明せよ。

- ・ 大核、小核
- ・ 細胞口、細胞いん頭、食胞、細胞肛門
- ・ 収縮胞
- ・ 繊毛

■単細胞生物に特有な細胞小器官の名称と、その働きを説明せよ。

- ・ 収縮胞：浸透圧の調節
- ・ 食胞：食物の消化
- ・ 繊毛：運動
- ・ べん毛：運動
- ・ 仮足：アメーバ運動
- ・ 眼点：光の受容

■多細胞生物の体構造において、細胞の集まりの段階を分類せよ。

- ・ 植物：細胞→組織 (ex 海綿状組織/さく状組織、木部/師部、表皮/気孔)  
→組織系(ex 基本組織系、維管束系、表皮系)→器官(ex 葉)→個体
- ・ 動物：細胞→組織→器官(ex 口、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、すい臓)  
→器官系(ex 消化器系)→個体

■細胞群体について説明せよ。

- ・ クラミドモナス→ユードリナ→プレオドリナ→ボルボックス
- ・ 一定数の細胞が集まり、一見個体のようなまとまりをもつもの
- ・ ボルボックス程度になると、各細胞の役割分担（分業）がみられる